

宮島地域コミュニティだより

令和5(2023)年3月発行

編集・発行／宮島地域コミュニティ推進協議会

TEL: 44-2000 FAX: 44-2008

ホームページ <http://miyako.hatnet.jp/>ブログ <http://miyajima1.exblog.jp/>

宮島環境標語コンテスト入選14作品発表

地域の自然から、省エネ、リサイクルまで、環境を大切にする行動に結びつけるきっかけとするため、平成26年度から環境標語を募集しています。子どもから大人まで島に関わる多くの方が継続して参加できる環境活動の一つです。

今年度126作品の応募があり、そこから当協議会などの構成員による選考で14作品が入選しました。

また、宮島学園の13入選作品のうち、1作品が、広島県環境保健協会主催の環境標語コンクールにも入選しました。

宮島学園の入選者については、1月10日の始業式に併せて表彰式を行いました。



令和4年度 宮島環境標語コンテスト入選作品一覧

(敬称略)

(一財) 広島県環境保健協会 環境標語コンクール同時入選作品 (奨励賞)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| ・よごさない わたしのため みんなのために | 【宮島学園1年 藤田 夏帆】 |
| ----- | |
| ・リサイクル おんだんかを ふせごうよ | 【宮島学園2年 永田 利正】 |
| ・まもろうよ みんなのみやじま みんなでね | 【宮島学園2年 的場 穂実玲】 |
| ・みやじまは かみさまのしま たいせつに | 【宮島学園3年 近藤 亮汰】 |
| ・ぼくたちが 宮島の自然 守るんだ | 【宮島学園4年 渡邊 純】 |
| ・自然をね わやくちやにせんで これ約束 | 【宮島学園5年 山内 小雪】 |
| ・守りぬけ 豊かな自然の 宮島を | 【宮島学園5年 坪田 喜美】 |
| ・ゴミを「ポイ」 そこは本当に ゴミ捨て場? | 【宮島学園6年 酒井 百々子】 |
| ・神の島 みんなで受けつぐ 大自然 | 【宮島学園6年 木村 汐里】 |
| ・目の前の ゴミを拾って ゴミ箱に | 【宮島学園7年 山内 あやめ】 |
| ・伝統は 守る意志から 繋がれる | 【宮島学園8年 沖田 裕香】 |
| ・ゴミ落とす あなたの心が ゴミのよう | 【宮島学園9年 中村 栄斗】 |
| ・原始林 緑色の姿を 後世へと | 【宮島学園9年 ベタニオ メガンローズ】 |
| ・子に孫に つなぐ歴史と この自然 | 【一般 藤嶋 慎二】 |

宮島学園の生徒が鎮火祭へ参加

～文化・交流部会～

令和4年12月31日（土）の大晦日、午後6時ころから御笠浜で行われる火難避けのお祭り「鎮火祭」に、宮島学園の7年生から9年生の生徒たちが学園で作った大松明とともに参加しました。

厳しい寒さにもかかわらず、多くの観覧客が御笠浜に集まりました。斎場の大東から御神火をもらった宮島学園の大松明は、勢い良く燃え上がり、子どもたちは「たいまつ、ワッショイ。たいまつ、ワッショイ。」の掛け声をかけながら勢い良く力を合わせ最後まで練り歩きました。

子どもたちが、この体験を忘れずに地域の伝統行事を守り、受け継いで行ってくれることを願います。



▲ 勢いよく燃え上がる宮島学園の大松明

◆ 吉和・宮島チャレンジ交流

～ 地域学校協働活動事業 ～

2月10日（金）、宮島学園3、4年生の児童がバスで吉和へ行きました。子どもたちが心待ちにしていた冬のチャレンジ交流です。

この日の吉和は一面銀世界。宮島では見ることのない雪の量にみんな大興奮。雪だるまを作ったり、雪山に登ったりして大はしゃぎでした。半年後の宮島での再会を約束して別れました。

児童数の少ない両校にとって交流の機会はとても貴重です。宮島地域コミュニティ推進協議会では両校の交流活動を支援しています。



▲ 一面の銀世界に大興奮

福祉に関する講演会

～生活環境・福祉部会～

2月2日（木）18時30分から etto 宮島交流館2階ホールで、廿日市市社会福祉協議会地域支援アドバイザーの井岡 仁志（いおか ひとし）さんを講師にお招きして「これからも宮島で暮らすために～人と人のつながりを通して～」と題して講演会を開催しました。

滋賀県高島市の事例を参考に、行政に頼るだけでなく、地域が暮らしの問題を共有し、協働で取り組むことの大切さを話されました。

多くの方のご来場、ご清聴有難うございました。



▲ 福祉は ふだんの 暮らしの しあわせ